

同窓会報 白百合

〈 題 字 〉
元仙台北百合短期大学教授 保井明子

〈 発 行 〉
仙台北百合女子大学・仙台北百合短期大学同窓会
同窓会事務局 仙台市泉区本町6番1号
同窓会事務局直通TEL・FAX(022) 372-3595
仙台北百合女子大学
TEL(022) 372-3254
FAX(022) 375-4343

〈 印 刷 〉
ハルウ コミュニケーションズ

No. 47

発行 2018年4月30日

同窓会総会に出席して

英語科4回生 岡田 恵子

第49回同窓会総会は、平成29年6月4日（日）に仙台ロイヤルパークホテルにて開催されました。

今回は、家政科25回生と英語科4回生が短大を卒業してから25周年を迎えました。同窓会よりお心尽くしの記念品を戴きました。改めて御礼申し上げます。遠方から参加してくれた同級生もあり、25年の空白を感じる事無く、近況報告や思い出話に時が経つのを忘れる程でした。

総会では、高橋伸子先生の講演を拝聴し、先生方の熱意あふれる授業に精一杯ついていこうとした事、英語劇や英語のスピーチ大会、教会でのクリスマスミサ用クッキー作り等に参加した事が思い起こされました。

還暦のお祝いの皆様と同室で行った同期会では、家政科

の高橋伸子先生、小村毅先生、千葉洋子先生、英語科の式井久美子先生と芳野総子先生に御出席戴きまして、懐しい思い出話に胸が熱くなりました。千葉洋子先生指揮による出席者全員での「み母マリア」の合唱に、清浄な空気の中、全員の心が一つになりました。

また、通常とは異なる「逆ビンゴゲーム」では、1つも開かなかった人が勝ちというルールに会場が笑顔と歓声に包まれました。

最後になりますが、この様な、かけがえの無い時を与えて下さいました先生方、並びに御尽力戴きました皆様に厚く御礼申し上げますと共に、母校並びに同窓会の益々の御発展と皆様の御健康を心よりお祈り申し上げます。



ごあいさつ

2017年度から学長の任をまかされて1年が経過しました。毎日のように新たな案件が浮上し、未処理の文書を平積みしておくそれを処理する前に次の文書が到着します。気がつくと、デスクに複数の柱が乱立してしまいます。週末にはそれらを片付けます。

18歳人口が激減し、大学をめぐる状況は悪化の一途です。若い人が減っているのに、大学が多いのです。学生は交通の便がいい都心部の、大きな、共学の総合大学に集まる傾向があります。高校生もそのような大学を好むようです。

わたし自身の体験と観察から、そうである必要はないと主張します。大学院へ行きたいのなら、確かに都心部の総合大学がいいでしょう。しかし学部生、つまり高校卒業後の大学4年間は、落ち着いた小さな私立大学がベターなのです。女子大学ならさらにいい。そこでこそ女性のリーダーが育つからです。

人間が日常的に接し、意味のある人間関係を築ける人数の平均は約150人とされます。個人差はあっても、この数字は原始時代から現在に至るまで余り変わっていません。したがって大都会の3万人の大学に入学してもあまり意味はありません。かえって意

仙台白百合女子大学 学長
同窓会名誉会長

矢口 洋生



味のある人間関係ではなく、薄っぺらで拡散した人間関係しか築けないかもしれません。JR新宿駅では1日に300万人以上の人を通り過ぎます。でも、その雑踏の中で本当に意味のある人間関係を築くことはできません。むしろ究極の孤独を感じることでしょう。

人間関係を構築する条件は、日常的に見知った関係になって信頼感を得ることです。本大学では、教員、職員、学生とがお互いを認識できる距離感を保つことができます。その中から、意味のある人間関係を発見し、それを育てていくことができます。本学の緑溢れる自然や夕焼けの眺望はそのための環境です。大人同士として関係を構築できるかどうかは、社会に出て活躍するためには決定的に重要なことです。

身内や後輩、ご友人に是非お勧めください。落ち着いた、小規模の、国際的伝統を備えた仙台白百合女子大学こそが、意味のある人間関係を築き、友情を育み、将来への準備をするための「最良の環境」であることを。そのことを世間はまだ知らないようです。OGの皆さんのお力添えをお願いする次第です。

同窓生の皆様へ

仙台白百合女子大学・仙台白百合短期大学
同窓会会長・家政科1回生

渡邊 博子



同窓生の皆様、ごきげんよう！

昨年の会報でもお知らせしてございますが、今年6月10日(日)に開かれます同窓会総会は仙台白百合女子大学の前身でございます仙台白百合短期大学がこの泉の地に誕生して50年を迎えます。1966年(S.41)4月に短期大学が開学し、その2年後1968年(S.43)3月に第一回生135名の同窓会入会式が行われ、6月16日に第一回目の同窓会総会が開かれました、当時学部は家政科のみでございましたが1987年(S.62)に英語科が併設され、また1996年(H.8)に時代の要請に応じて仙台白百合女子大学が誕生し短期大学は昇格統合されております。2000年(H.12)に女子大学一回生を同窓生としてお迎えし現在に至っております。一言で50年と申しましてもその間、聖パウロ修道女会のマ・スール方をはじめとして教職員の皆様、卒業生の方々、この大学に関わってこられました皆様方に支えられまして今日に至っております事を思い、心より感謝の気持ちでいっぱいでございます。

現在、同窓会の顧問をお引き受けいただいております仙台白百合短期大学第4代学長、仙台白百合女子大学初代学長をなさいましたSr.和田美稚子先生は仙台白百合短期大学記念誌「いのち

の泉」の中で「キリスト教精神に基づいて〈神のみ前に誠実に生き、愛の心を持って人々に奉仕できる女性の育成〉これこそは仙台白百合の教育の理念であります、と話しておられます。また、本学を巣立つ若者が将来温かい家庭生活、堅実な社会生活を営み社会に貢献できる人材となるよう心から期待していますと述べていらっしゃいます。私達同窓生もマ・スール方と母校の大学に関わられた皆様方の思いに近づける様努力したいものと思っております。そしてこの事が東北地方で唯一のカトリック系女子大学のめざす姿ではないでしょうか。役員一同、50年という歴史を心に止め、同窓会発展のために心一つにして活動してまいりますので会員の皆様、宜しく願い申し上げます。

これまでの50年に感謝し、また、これからの同窓会の発展を祈念して2018年(H.30)5月10日(木)午後2:00~大学内にございます泉修道院の御聖堂におきまして石巻教区の会津隆司神父様に依る「同窓会50周年感謝ミサ」を行っていただく予定でございますので、大勢の皆様方御参加くださいます様御案内申し上げます。ご参加出来る方は5月7日(月)まで、同窓会事務局へご連絡頂ければ幸いです。

ーカラフルなキャンパスから巣立ちー

学校法人白百合学園 理事長

式井 久美子



1970年秋に着任した仙台白百合短期大学での4年半の体験は、驚きと感動、懐かしい思い出の宝庫です。

学生同士は無論のこと、教職員も全学生と知り合える少人数の家庭的なキャンパスの「和やかさ」と、空き時間もない過密カリキュラムの「厳しさ」の織り成すカラフルな2年間は、優しくかつ逞しく、多様性受容ができる（グローバルな）女性を育てたのだと思います。20年後の英語科増設にあたり、泉キャンパスで過ごす機会が訪れた時、家政科の学生たちが、先輩としての誇りと自信に満ちて、英語科学生をリードする頼もしい姿に、再び感動いたしました。新学科誕生に伴い、制服が廃止され、講堂を始め、諸施設・設備が増設され、海外との交流も活発になり、名実ともによりカラフルなキャンパスになりました。さらに1996年、四年制大学（人間学部）に昇華し、質量ともにより豊かなキャンパスとなり、卒業生たちが多方面にわたり、信頼され、活躍されている現実を嬉しく見守らせていただいております。

同窓会から、英語科創設の折に贈られたモニュメント「天への回廊」と創立25周年記念に寄贈された石碑「いのちの泉」は

創造主まで届く人間の可能性と、その実現のためにイエス様が約束してくださった「尽きない恵み」を証する泉の宝でございます。同窓会設立50周年のお祝いにあたり「見る目に」カラフルな大学を支える「見えない」建学の精神が、半世紀にわたり、広め・伝えられてきた足跡を懐かしく振り返り、改めて感謝し、神様の豊かな祝福がありますようお祈り申し上げます。



同窓会から寄贈のモニュメント
「天への回廊」



同窓会から寄贈の石碑
「いのちの泉」

還暦を祝う会

家政科11回生 松本 あい子

仙台白百合短期大学を卒業して早40年が経ち、矢口学長をはじめ諸先生方、そして同窓会事務局の皆様に見守られながら、人生の節目である還暦のお祝いをして頂き、その上一人ひとりに心の込められた記念品を和田先生から頂戴し、大変嬉しく感謝の思いでいっぱいです。心より厚く御礼申し上げます。

卒業後初めて会う友、数年振りに会う友、遠方よりこの会の為に集まってくれた友、本当に嬉しい限りでした。学生時代がよみがえり懐かしい話に花を咲かせたひと時でした。

総会の中では、当時Cクラスの担任をされていたらっしゃいました高橋伸子先生より「わたしのしらゆり時代—学生たちとともに—」のテーマで講演を賜りました。私達が学生だった頃の授業や実験の様子、エンジ色の三ッ揃いの制服姿、校内着として着用



した水色のジャンパースカートに白衣姿、体育祭や大学祭などの沢山の思い出をスライドで拝見することができ、会場は大変盛り上がりしました。また、私達の健康と栄養にかかわる研究のお話も頂きとても興味深く、学生の頃に戻って講義を受けているような錯覚を覚えました。今回の講演の準備に大変ご苦労されたことと思います。伸子先生に深く感謝いたします。現在の大学は私たちの頃の短大から大きく発展し、新しく立派な美しいキャンパスとなりましたが、短大の面影は同窓生一人ひとりの心の中に生き続けていくと思います。「還暦を祝う会」の最後に千葉洋子先生の指揮で出席者全員で「御母マリア」を歌いました。皆が直ぐに口ずさむ歌声を聞き聖歌が体に染み込んでいることを感じ美しいハーモニーに魅了されました。還暦を祝う会に出席できましたこと、大変嬉しく感謝でいっぱいです。同窓生という繋がりを忘れずに「白百合」の精神と白百合での思い出を大切に、これからの人生を過ごしてまいりたいと思います。母校の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



カトリック研究所 第31回公開講座

演 題：「教育を支える霊性—アウグスティヌスの『心の眼』—」
講 師：田中 智志氏（東京大学大学院教授）
日 時：2018年7月14日（土）13：30～15：30
場 所：本学講堂
申込み方法：氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号をご記入の上、はがき・FAXまたはEメールで下記までお申し込みください。

カトリック研究所 2018年度 第1回研究会

演 題：「いのちへのまなざし」
講 師：幸田 和生氏（カトリック東京大司教区補佐司教）
日 時：2018年5月26日（土）13：30～15：30
場 所：123室（1号館2階）
申込み・受講料：不要

岩田靖夫文庫開設



カトリック研究所では、文化功労者で同研究所所長を務めた、故・岩田靖夫名誉教授の蔵書を収めた「岩田靖夫文庫」を2017年2月、本学5号館4階研究所内に開設いたしました。

同文庫にはご遺族様よりご遺贈いただいた学術書3000冊が収められています。岩田先生のご専門である古代ギリシア哲学から、ハイデッガー、レヴィナスなどの現代哲学まで、さらにはキリスト教思想や仏教思想などの宗教書を含みます。丹念な書き込み、線引きがなされたものも多く、岩田先生の探求の軌跡が伺える興味深い内容ですので、多くの皆様のご利用をお待ちしております。

◎カトリック研究所（5号館4階）
【開室時間】10時～16時、休室日 土・日曜および祝日
【お問い合わせ】図書館 TEL 022（374）5090

加藤一二三客員教授講演会

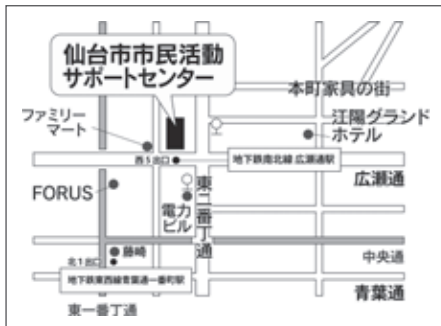
2018年度後期に、加藤一二三客員教授の講演会開催を予定しております。詳細については本学HPにてお知らせいたします。

学都仙台コンソーシアム サテライトキャンパス講座 （場所：仙台市市民活動サポートセンター）

演 題：「新しい脂質栄養学～本当に脂質は悪者ですか？～」
講 師：大久保 剛（健康栄養学科准教授）
日 時：6月16日（土）10：30～12：00

演 題：「作家と食べもの」
講 師：大本 泉（グローバルスタディーズ学科教授）
日 時：6月23日（土）13：00～14：30

演 題：「『夜と霧』に学ぶ“生きる意味”」
講 師：加藤 美紀（カトリック研究所所長）
日 時：7月21日（土）10：30～12：00



みやぎ県民大学講座

（場所：仙台市白百合女子大学）申込み締切6月22日（金）

演 題：「食と健康—ロコモに負けないからだづくり—」全4回

①「実践編1：筋肉量アップのための献立実習」
講 師：高澤 まき子（健康栄養学科准教授）
矢島 由佳（健康栄養学科助教）

日 時：6月30日（土）10：00～12：30
※調理実習を行いお昼に試食します。（エプロン、三角巾、実習用靴をお持ちください。）

②「ロコモへの道：筋肉の一生」
講 師：鈴木 裕一（元健康栄養学科特任教授）
日 時：6月30日（土）13：00～15：00

③「ロコモって？—筋肉量を増やすための栄養素とは—」
講 師：氏家 幸子（健康栄養学科准教授）
日 時：7月7日（土）10：00～12：30
※お弁当をこちらで用意します。栄養素を調べた後で試食します。

④「実践編2：筋力をアップしてみよう」
講 師：山城 秋美（健康栄養学科准教授）
日 時：7月7日（土）13：00～15：30
※運動できる服、運動靴、水分補給のための飲み物をお持ちください。

講座の申込み・問合せ先 仙台白百合女子大学図書館
〒981-3107 仙台市泉区本田町6-1
【TEL】022（374）5090 【FAX】022（374）4577 【E-mail】library@sendai-shirayuri.ac.jp

※講座は全て無料です。

同窓会 50 周年に向けて—白百合の想出—



小村 毅

同窓会50周年、誠にありがとうございます。また、いつも盛大な同窓会にご招待頂き、改めて同窓生の皆様に感謝申し上げます。

さて、私は48年間もの長きに亘り勤めさせて戴いたため、思い出は多々あります。が、紙面の制限があるので、次の二つのことに絞ってみました。最初は、短大入学式等の会場に何と「大講義室」を利用していた頃のなつかしい話です。そこで行われた或る入学式で司会者が閉会の辞の際「これをもちまして卒業式を終了します」と誤って言ったため、場内からドッと爆笑を買うハプニングが起きました。これには、入学式の一ヶ月前に立て続けに卒業の名の付く関連行事（卒業ミサや卒業式リハーサル等）が行われただけという背景のあったことが影響したためとも思われます。

次は、本学周辺の小さな自然の恵みの話です。先ず何と云っても、春に鮮やかに咲く桜の花は私達の心を和ませてくれる存在でもありました。また、校舎の裏手に白ユリの花が群をなして咲いていたのも印象的でした。さらに私が旧校舎4階の研究室へ移り住んだ頃、北側の窓から裏山が一望できたため、以下の様々な生物の現われる様子・営みを時折り観察することがあり、私のささやかな楽しみとなりました。山中を飛び跳ねる野ウサギや月光に照らされ旧門に辿り着いた巨大なガマガエル、ゴミ焼却場で餌あさりするタヌキ、そしてへびに尻尾と片足を咬まれながらも危機一髪で助かったびっこ足姿の子猫等です。自然の宝庫とも言えるこの裏山は、興味の引かれる思い出深いものでした。

おめでとうございます—感謝—



高橋 伸子

「仙台白百合短期大学・女子大学同窓会」創立50周年、おめでとうございます！

仙台白百合短期大学卒業1回生135名は後輩達の道しるべとして、「同窓会」を創設したのであろう。「少しのことにも、先達はあらまほしき事なり」とも、私は思う。

あれから50年の時を経て、同窓会は、毎年300余名の卒業生が加わり、発展の一途を辿っている。ひとえに多くの同窓生達が心をついに前進する誠実な姿勢を脈々と続けているからである。また、同窓生達が社会のそれぞれの場で忍耐強く努力を重ね極めながら活躍していることが、同窓会の発展に寄与することとなり、これからの飛躍が期待される。

私は皆様の同窓会に参加した折、同窓生達が先輩、後輩の垣根

をこえて交流する姿を垣間見、ほほえましく思い、また、和やかさが漂う雰囲気心が癒され幸せな気持ちになり帰途に着いている。

さて、同窓会の皆様は真のお友達はいますか。莊子は「真の友」を持つには「水のごとく淡くして以て親しむ」こと、という。

自分の心を明鏡にしてつきあえば「真の友」がつくれると思うし、学舎だけでなく、同窓会でも出会いを大切に、真のお友達をつくって欲しいですね。

仙台白百合短期大学・女子大学同窓会の皆様がこれからも幸せで輝いた人生をおくれるように、そして同窓会の一層の発展を祈念している。

同窓生の皆様と共に50周年を祝うことができたことに感謝して。

建学精神の地域化



社会福祉法人 仙台白百合会
高齢者福祉複合施設「カリタスの丘」理事長

半田 芳吉

仙台白百合女子大学・仙台白百合短期大学同窓会の発足50周年の航跡心からお慶び申し上げます。また毎年、同窓会及び同窓会の多くの会員が参加されている「カリタスの丘後援会」からは多大な寄付を賜り介護機器の整備などに寄与させてもらっていることに改めて感謝申し上げます。

1968年3月、第1回同窓会入会式があり、卒業生は「～ますます人格形成に心を尽くし、人々への奉仕に努めることをお約束します。～」と宣言しました。学長先生からは『「世の光・地の塩」となり社会に貢献できる人間となる事を希望しております』とお言葉がありました。この宣言とお言葉は本学の建学の理念を旅立

ちされる卒業式に新たな気持ちで確認されたということでしょう。

大学はその独自性と創造性が求められ、聖域ではありますがその地域の一員でもあります。何かデシデントでも起きればお互いに助け合う間柄になります。例えば3.11の時には多くの学生達がボランティアに参加し、地域の人たちには介護物資などを提供しました。普段の建学の理念が学生達にいつの間にか浸透していたわけです。卒業されて地域社会に旅立つということは、この本学の建学の理念が一人ひとりの人格の一部となり地域化し、更には社会化していくこととなります。

同窓会が大学とともにますますの発展をされることをお祈りします。

同窓会

家政科 11 回生

高澤 まき子 (旧姓峯岸)

私が入学した頃の短期大学は、昔の1号館の校舎と体育館があっただけでした。通学時はエンジ色の制服に白のボアタイツつきブラウスを着用、学内では水色の校内着(ジャンパー・スカート)に着替えて授業を受けていました。講義室とはいえ、席も決められた教室のようでした。年間行事ではキリスト教行事や大学祭以外に春の運動会や秋の競技大会、遠足などがあり、今では考えられない高校の延長のような学生生活を送っていたように思います。でも、当時の私たちはそれらの行事に一丸となって取り組む協調性は大きかったと思います。また教職員の方々が学生一人ひとりを大切に接して下さるアットホーム的な雰囲気は、他の大学には負けていませんでしたし、先生方も大学教員としての威厳があり、神の道に通じる生き方の規範を教えていただいたように思います。

現在、私は母校に残り、後輩の指導にあたらせていただいています。私自身、あの頃の学生時代に描いていた儀式的な先生方と重ね合わせてみると程遠いように感じます。白百合で培った奉仕の精神「他人様のために何でもさせていただく喜び」をぜひ、今後も大学発展のために微力ながら尽くすことが出来たいと思っております。

人間発達学科 11 回生

大貫 舞 (旧姓佐々木)

私の大学時代の思い出について、いくつかご紹介させていただきます。

一つ目は、学生時代における自己管理です。自分のペースで講義を選択する事でプライベートの時間が出来、双方のバランスを上手く保つことにより有意義な生活を過ごす事が出来ました。

二つ目は、先生の方からやすく、面白い講義内容です。私が専攻していた心理学や教育学に、より一層の興味を持つことが出来ました。また、個人的な質問に親身になって応えて頂いたことや雑談なども思い出として残っています。

最後に、私が充実した学生時代を過ごすことができたのは、先生方はもちろん、大学で出会った友人達の支えがあったからだと思います。同じ分野を学ぶ中で、情報共有や皆それぞれの意見を大切にできたこと、プライベートで皆が集まって楽しんだことなど忘れられない思い出が沢山あります。気が付けば、あつという間の四年間でした。



英語科 4 回生

齋藤 陽 (旧姓蓮沼)

卒業して二十五年が過ぎました。私が学生だった頃は、仙台一泉中間は地下鉄が通っていたので、通学はとても便利でした。学校の周りには田んぼばかりだったのに、いつの間にか次々と店が建ち並び、道路も整備され、近代化が進みました。現在の白百合の学生生活と私の子供は同じ位の年齢なので、ずいぶん長い目があったんだなと思います。白百合の歴史とともに歩んでこれたことをとてもうれしく思います。

家政科 15 回生

小笠原 純子

自然に恵まれた短大に入学しまでもなくの頃、学長先生の授業の中で裏山を散策したり、種蒔きをする機会を頂きました。秋には収穫をして、皆で美味しく戴いたのが懐かしく思い出されます。また、クラス対抗のスポーツ大会には先生方も参加して下さいました。学生より、ハッスルして頂きとても楽しかったです。暫くは無沙汰していた学校ですが、仙台白百合女子大学創立50周年記念講演会では渡辺和子先生の貴重な講演「現代の忘れ物」を聴講させて頂く機会を与えて頂き感謝して居ります。最後になりますが、同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げます。



家政科 10 回生 浅野 朗子

仙台白百合短期大学を卒業して四十年の歳月が流れました。懐かしい思い出を紐解くため、学生会が編集委員となり発刊した機関誌「葦」五号を、何十年か振りに手に取りました。表紙をめくると、春の美しい桜を背景に校舎と校歌が載っていました。還暦を過ぎたからか、恋つのでしょつか。気高かく一途な思い出さへ匂う、この歌詞こそが白百合で学ぶ学生の心に刻むべき精神なのだと思ふ胸を熱くしました。私が学生会役員だったその時期、葦は四年間発行が途絶えておりました。創立十周年を迎えた大きな節目に、諸先生、学生皆さんのご協力でも復活させて頂いた時には本当に感謝でした。関わった皆様の「園」が織りなされている「葦」五号は私の宝物です。同窓会五十周年の記念に心より「神恩・師恩・親恩」の言葉を皆様にご贈らせて頂きます。

家政科 30 回生 小西 綾子

短大時代を振り返ると、必修課目が多く、毎日授業やレポートに追われ、夢中で過ごした二年間だったと思います。

おかげ様で、栄養士の仕事に就き、職場は度々変われど、栄養士二筋に続けています。

卒業後に仕事のつながりで、先輩の方々のお世話になる事が多く、みなさんの多方面での活躍を目にしますと、いつも刺激を受け、努力の糧となっています。

今後、卒業生の方々のネットワークや絆を大切にし、栄養士としての、新しい情報や知識を高め、日々業務に励んでいきたいです。

家政科 14 回生 磯部 美津子 (旧姓・赤崎)

ごきげんよう

短大卒業して、早や三十七年になりました。子供達も、独立し、主人・祖母と三人で暮らしています。

同窓会より原稿の依頼があり、卒業アルバムを開いた瞬間、懐かしい日々が、よみがえりました。学校の帰り、友達と七北田の喫茶店で、コーヒートサンドウィッチを食べによく行っていました。ちよっぴりほろ苦い味が、心地良く感じられました。これからも、昔の思い出を、大切にしていきたいです。

家政科 12 回生 小山田 真理子

二年間のしあわせ

同窓会設立五十周年おめでとういいたいと思います。

目を閉じて、短大生の頃を思つと、藤田洋子学長様の強く優しい歌声がマリアさまのころが流れました。また、和田セツ先生に教えていただいた「イロリメフストバ」必須アミノ酸のおまじないが、ポツと浮かびました。

イ・インロイシン
ロ・ロイシン
リ・リジン
メ・メチオン
フ・フェニルアラニン
ス・スレオニン
ト……トリアファン
バ……バリン

心の糧となるメロディや、一所懸命学んだ思い出があることを幸せに思います。母校の同窓会の輪が、白百合で育まれた愛の心により、大きくなりますようお祈り申し上げます。

50周年



家政科 3 回生

納庄 克子 (旧姓 佐藤)

【おもいで】

私が入学したのは、創立三年目の出来立てほやほやの短大でした。回りは今のような風景とはまったく違い、校舎がほんのよ本田山の上に建っていました。毎朝砂利道の本田山の坂を息を切らしながら歩いたものです。車が来れば、埃が舞い上がり、よく口を塞ぎ目を擦すったものです。坂道の途中に小さなお店があり、時々寄ってお腹を満たしたり喉を潤したり(買い食いとも言いました)と、とても長閑な通学風景でした。短大は二年間の短い枠組の中で定められた科目を熟さなければならぬ毎日日々びっしり勉学詰めだったので、今思えばとても充実した学生時代を過ごせたと思っております。

今では、ナンセンスと言われるかもしれませんが小豆色の制服がありました。学生達には人気がありませんでしたが、毎日ファッションに気を使うことなく楽しんで重宝しました。

半世紀の時を経て、同窓会事務局の方々と御縁があり、卒業してから初めてなつかしい校舎を見、御存命のマスルともお逢いする機会がありました。心の隅にいつも白百合の精神を持ちつつ人生を歩んで来た事も事実に感じています。

白百合の精神が脈々と学生の皆さんに受け継がれることを切に願っております。

国際教養学科 10 回生

熊谷 治子

同窓会五十周年、おめでとうございます。仙台白百合女子大学を卒業して、八年になりました。私にとっての大学生活は大切な友人と出会った皆さんの思い出を作る事が出来た四年間でした。明るく綺麗な学生食堂ステラマリスで友人とお昼を食べていろいろな話をして笑っていた事を思い出します。

また、浅野浩子先生のゼミでは、秘書学について学ばせていただきました。卒業後、社会生活においてもあの時学んだ事が活かされています。就職活動の際は、就職課の方々に大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

私は今、私立大学事務職員として働いております。白百合女子大学で学ばせていただいたことを活かし、四年間お世話になった方々への感謝を忘れず、卒業生としての誇りを持ち頑張っていきたいと思っております。母校の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

英語科 7 回生

熊谷 治子

【白百合マジック】

すみません。それは私が仙台白百合で発した最初の言葉だった。入学式の日、晴れの日にふさわしく桜が満開のその日は遅刻したにもかかわらず、アドバイザーの式井先生は、微笑んでいらしゃった。その優しさは、カルチャーショウのカテゴリーに分類され、鮮明な記憶のまま永久保存されている。

授業では「マクベス」を読んだ。フィロメア先生の講義はとても刺激的で幾度となく質問をした。有難いことに、どんな愚問にも快く答えてくださった。そんな温かい雰囲気包まれて、不真面目だった私はいつのまにか、英語劇、ポエトリ・リサイタル、英語弁論大会、エリス委員長など、いままで経験したことのないことへ挑戦していた。

そして現在、グローバル・スタディーズ学科で英語を教えているとは驚きである。まさに、白百合マジックとしか言いようがない。



同窓会から寄贈

家政科 26 回生

I・R

全てに旺盛で、特に食べることに貪欲でした。ダイエツト宣言をしながら、お昼は何にしようかと考えたものですが、大学周辺は店も少く学生食堂で過ごす時間は特に楽しかった思い出です。白百合ランチの他に種類・種類と豊富なメニューがありました。特に中華丼420円は量・味ともに満足させてくれました。ラーメンの器に「飯がぎゅっ」と盛られ、野菜いっぱいの中華あんがたっぷりとかかっています。今では完全な難しきと思います。学生総会で「食堂の席取り禁止」が決定しても、履修時間が異なる友人と連携してこっそり席を確保したものでした。このような些細な日常から、友人と一緒に知恵を絞る協力する大切さを学び、身につけたのかも知れません。(笑)

人間発達学科 8 回生

堀内 裕子

【同窓会50周年】

私は親身に教えて下さる先生方のおかげで様々な知識を修得することができました。社会人として、常に自ら考え、行動することの大切さも学びました。

今後とも「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい」と言う、テサロニケ五章十六節の聖句を教訓として生きていこうと思っております。

英語科 4 回生

兵藤 恵久

同窓会が50周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

「平成」が始まった翌年、仙台白百合短期大学の入学式場には、保護者と間違われそうなスーツ姿の私。そこから2年間、高校とは違う雰囲気にも慣れ、学内外において充実した日々でした。担任の式井先生(現・白百合学園理事長)に「なんのためにも「ペール」を取ったらどんな髪型なのですか?」と聞いたことは、おそらくタブーだったのではないかと今、思います。

昨年の同窓会総会では卒業して25周年として、顧問の和田先生より記念品をいただきました。次は還暦!同窓会のみますますの発展をお祈りいたします。

家政科 2 回生

千葉 洋子

【朝の風】

一九六六年に松森の本田山の地に誕生した仙台白百合短期大学。そして一九九六年には四年制女子大学へと受け継がれ、創設五十周年の節目を迎えた。

その当時、旧短大一号館の四階大講義室に於て、毎朝バイブルサービスが行われた。

朝の祈りと聖歌は、校舎の隅々にも響き、全学をあげて心を一つにする祈りであった。いつも喜んでいなさい。たえず祈りなさい。これも感謝しなさい。と聖歌を歌う時として、学生一人ひとりを大切に、「かけがえのない存在」として接して下さった白百合精神であったことが思い出され、何とも優しい朝の風が吹き渡っていたように。

今更のように、無量の感慨を覚える。

家政科 11 回生

松本 あい子

【忘れ得ぬ思い出】

同窓会設立50周年おめでとうございます。昨年の同窓会総会では、皆様に温かく温厚なお祝いをして頂き心から感謝申し上げます。懐かしい短大生活は、和やかな学風の中、諸先生方が身近に感じる様なきめ細やかな授業に、沢山の知識と白百合精神の心豊かな女性と育んで頂いたことに幸せを感じます。卒業と同時に母校に就職させて頂き大変嬉しく感謝しながら、益々の発展を願っております。

家政科 12 回生

N・Y

東日本大震災の傷が未だ癒えませんが、私は短大時代に宮城県沖地震に遭遇しました。校門を出た坂道の途中で、突然の大きな揺れに路上へたたり込むと次の瞬間、目の前の道に大きな亀裂が走り出しました。私の膝は血がにじみ、無残にも片方の靴のヒールが取れてしまいました。ヒールの無いまま北田の商店街まで歩くと、目の前に飛び込んだり倒れたものは、酒屋の前の割れた大量の酒瓶と流れ出した大量のお酒でした。私は、この時初めて被害の大きさを知り、家族の安全を気遣いながら何とか家まで帰って来たことを思い出します。

もう一つ忘れられないのが書道部での活動です。中でも記念館での合宿は、とても楽しかった思い出の一つです。作品を仕上げたために汗を流し、皆で夕飯を作り、遅くまでおしゃべりやランプをして騒いだ日のことを思い出します。あれから四十年にもなりますが、今もその時のメンバーで集まっています。短大時代の思い出話を花を咲かせています。

短期大学が始まる前のこと



同窓会顧問
和田 美稚子

1966年12月号の「支部便り」(シャルトル聖パウロ修道女会日本管区で当時発行していたニュースレター)の中に次のような記事がありました。「松の梢をわたる風の爽やかさに、時折ファティマの聖母のチャイムが流れる静かな山の中、右に蔵王の連峰を、前面に田圃を隔てて丘陵の間より点々と、黒松・旭ヶ丘・南光台等の団地を望む地点に建つ近代的な校舎は、国道4号線(旧街道)を行く人々の視線を捉えます。ここ宮城県宮城郡泉町松森字本田46番地に本年4月より仙台白百合短期大学が誕生いたしました。…まだ職人が出入りしているこの校舎に3月末に3人のスールが先発として仙台修道院より移住いたしました。

…コンクリートの吹き付けのための足場が窓より校舎にかけてあり、仕事熱心な左官職人が、「今夜12時に来ますから開けておいて下さい。セメント塗りに丁度よい堅さになっている頃ですから…」と言われた時には私どもはビックリいたしました。(実は、しっかり鍵を掛けて寝なければ…と思っていたので…)

こうして始まった七北田修道院に住むことになった3名のスール、現在の泉区とは全く違う雑木林の山の中で『人里離れたところ』にきたような心細さを感じました。夜になると辺りは深い闇に包まれ、遙か遠くにポツンと見える農家の灯火と、変電所から聞こえて来るブーンという鈍い音のみ。『用心棒』として連れて来た筈の柴犬“ロック”もさすがに寂しさに耐えかねた様子で食べもせず、眠りもしないのでノイローゼ気味になってしまいました。私達は毎晩ロックのお見舞い。「ロック、このハンバーグとても美味しいよ。お願いだから食べて!!」と宥めたりする有様。どちらが番をしているのか分からない日々でした。

しばらくして若い門衛さんが来てからは、一緒に遊んだり、散歩に連れて行って貰ったりして力を取り戻し、短期大学が始まってからはすっかり元気になり、学生達のアイドルになりました。



Y.O.



当時の番犬“ロック”

〈同窓会からの寄贈〉



ステラマリスの MARIA 像



MARIA 像



ピアノ



こぶし

第52回白百合祭を終えて

2017年白百合祭実行委員長 4年 星川 茉月

2017年10月28日、29日に第52回白百合祭が開催されました。2日目はあいにくの天気となりましたが、両日ともにたくさんのお客様にご来場いただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。今年度の白百合祭は、毎年恒例のもちまきや学生会役員によるスタンプラリー、1日目は吉沢亮さん、2日目は加藤一二三先生によるトークショーを通じて本学の学生とお客様が共に楽しい時間を過ごしていただけたのではないかと感じております。

委員長というような大役を務めた経験はなく、最初は不安でした。しかし、白百合祭を通して得た仲間と共に、一つのことを創り上げたという達成感が今後の私を支えてくれる心の糧になると信じています。

最後ではございますが、本大学祭にご尽力いただきました企業の皆さまや地域の皆さま、大学祭関係者の皆さまにこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。



ホームカミング「バザー」



平成29年度白百合祭の10月28日（土）、29日（日）両日、同窓会では、ホームカミング・バザーを開催いたしました。

卒業以来の来校で、すっかり変わった大学の様子に、短大時代の名残を見つけては懐かしみ、恩師・旧友との久しぶりの再会を拝見し、とても嬉しく思っております。

バザーでは、毎回完売の函館五島軒レトルトカレー（キーマカレー・野菜カレー）・白百合マーク入りクッキーの他に、皆様からご協力いただいた、衣類・アクセサリ・食器・生活雑貨・手芸用品・雑巾・文具をはじめ、お着物・羽織・帯など、回をかさねる毎に賑わいを増し

ています。

バザー品のご協力、ご支援くださいました皆様、当日お手伝いくださいました同窓生の皆様、そしてホームカミング・バザーにお出でくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

同窓生の皆様、是非遊びにいらして下さい。

事務局一同楽しみにお待ちしております。

なお、バザー売上金はチャリティーとしてカリタスの丘・ありのまま舎等へご寄付させていただきました。

同窓会事務局では、通年、バザー品を募集しております。お家で不用になっている品（食器類、タオル、衣類など）がありましたらぜひご協力お願い致します。【連絡先】 仙台白百合女子大学同窓会事務局 ☎ 022(372)3595

平成 29 年度入会式

2018年3月15日（木）、本学講堂にて人間学部19回生の同窓会入会式が行われました。マリア様に見守られ、271名の新会員を迎える事が出来た事を嬉しく思います。卒業生の皆様には、大学生活で学んだ多くの事を原動力に、益々のご活躍と、ご多幸を心よりお祈りいたします。



— 同窓会より 記念品 —

第50回 同窓会総会

期日：2018年6月10日(日)
会場：仙台ロイヤルパークホテル

お申し込み方法など、詳細につきましては別紙をご覧ください。

「卒業 25 周年を祝う会」 「還暦を祝う会」

今年は、短大家政科 12 回生と家政科 26 回生と英語科 5 回生が対象となります。

詳細につきましては、別紙をご覧ください。

年会費お支払のお願い

卒業時に納入していただきました終身会費は、通信費等に使われておりましたが、諸般の値上がり等により、60才以上の方に年間 2,000 円の会費のご協力をお願いしております。尚、60歳をお迎えにならなくても、ご賛同を頂けます方はご協力よろしく願いいたします。会費は、下記の口座へお振込下さるようお願いいたします。

記

- ゆうちょ銀行 02280-2-137248
- 加入者名 仙台白百合女子大学同窓会
送金なさる時、回生も書いてください。(封筒の名前の下に書いてあります。)(例 家政科 1 回生)
- 年会費 2,000 円
振り込み手数料はご負担をお願いいたします。

昨年度ご協力いただいた皆様方に、深くお礼申し上げます

訃 報

謹んでお悔やみ申し上げます。

〈短大〉

回生	科	組	名 前
21	家政	食	小野寺 ^{のりこ} 範子 (2017年3月)

2017年11月1日（水）本学講堂にて死者祈念ミサが行われました。ご逝去なされた方の情報がお分かりになりましたら、事務局までお知らせ下さいますようお願いいたします。

年会費 ご協力ありがとうございました

2014年(平成26年度)年会費

家政科1回生	張本和美
〃	浅野恵子
〃	山口富美子
〃	渡辺博子
家政科2回生	小原由利子
〃	千葉洋子
〃	柴田勢津子
〃	佐々木京子
〃	丹野恵美子
〃	細田春江
家政科3回生	倉田真子
〃	納庄克子
〃	小野麗子
〃	阿部美恵子
〃	高橋いく子
〃	木村恵美子
〃	三浦ひさえ
家政科4回生	川上麗子
家政科5回生	小倉美代子
〃	塚本良子
家政科7回生	齋藤和江
家政科8回生	高橋千恵子
〃	市川ふき子
〃	鈴木睦
〃	大友かおる
〃	浅野千賀子
家政科12回生	矢口章江
家政科13回生	坂本典子
家政科14回生	村上恵久子
家政科16回生	白鳥マリ
家政科21回生	道源亜紀子
家政科24回生	板倉礼江
英語科4回生	斎藤環
女子大学栄養2回生	古澤洋恵
女子大学人間発達7回生	弥藤扶美絵
女子大学生生活福祉8回生	古川知子

2015年(平成27年度)年会費

家政科1回生	牧野美代子
〃	堀江秋子
〃	鈴木和美
〃	中沢定子
〃	高橋和恵
〃	高橋公子
〃	渡辺節子
〃	下田啓子
〃	小林明子
〃	佐藤牧子
〃	工藤美子
〃	浅野恵子
〃	新木和美子
家政科2回生	渡辺博子
〃	佐藤礼子
〃	狩野百合子
〃	千葉洋子
〃	柴田勢津子
〃	久米本洋子
〃	大畑みち子
〃	佐々木京子

〃	齋藤千晴
家政科3回生	斎藤千寿子
〃	辻野道子
〃	佐藤正子
〃	小野麗子
〃	阿部美恵子
家政科4回生	高橋成美
家政科5回生	土屋成子
〃	塚本良子
家政科6回生	餅由美子
家政科7回生	萱場マサエ
家政科8回生	高橋千恵子
〃	市川ふき子
〃	佐々木嘉子
家政科9回生	大道寺桂子
〃	渡辺扶美江
〃	武藤美幸
家政科16回生	白鳥マリ
家政科20回生	柴田順子

2016年(平成28年度)年会費

家政科1回生	小野慶子
〃	渡辺博子
〃	小林明子
〃	木村良子
〃	鈴木房子
〃	浅野恵子
〃	中谷和子
〃	久保田美知子
〃	工藤美子
〃	佐藤さだ子
〃	千葉悦子
〃	服部きみ子
〃	大塚洋子
家政科2回生	狩野百合子
〃	久米本洋子
家政科3回生	斎藤千寿子
〃	木村恵美子
〃	三浦ひさえ
〃	阿部美恵子
〃	小野麗子
〃	内村由紀子
〃	青山映子
〃	納庄克子
〃	内藤洋子
家政科4回生	川上麗子
〃	岸野良子
家政科5回生	塚本良子
〃	大江由美子
〃	小倉美代子
家政科6回生	餅由美子
〃	木幡文子
〃	渡部裕子
家政科7回生	佐藤昌子
家政科8回生	齋藤和江
〃	鈴木睦
〃	深沢博子
〃	高橋千恵子
〃	佐々木嘉子
家政科9回生	熊野久子

〃	松岡裕子
〃	岡田郁子
家政科10回生	加藤隆子
〃	千葉恭子
〃	山田千恵子
〃	橋浦美智子
〃	高橋昭子
〃	近藤敦子
〃	小石川泰子
〃	菅井幸子
家政科16回生	望月滋子
〃	白鳥マリ
家政科18回生	田中依子
家政科20回生	柴田順子
女子大学生生活福祉8回生	古川知子

2017年(平成29年度)年会費

家政科1回生	小野慶子
〃	山口富美子
〃	渡辺博子
〃	中谷和子
〃	工藤美子
〃	小林明子
〃	浅野恵子
〃	服部きみ子
〃	千葉悦子
〃	佐藤牧子
家政科2回生	大畑みち子
〃	佐々木京子
〃	戸田真弓
〃	狩野百合子
〃	坂田悦子
家政科3回生	小野麗子
〃	斎藤千寿子
〃	阿部美恵子
〃	北目順子
〃	白根真知子
家政科5回生	塚本良子
〃	高野和子
〃	小倉美代子
家政科6回生	餅由美子
〃	木幡文子
〃	渡部裕子
家政科7回生	萱場マサエ
家政科8回生	深沢博子
〃	府中百合子
〃	高橋千恵子
〃	鈴木睦
〃	齋藤章恵子
〃	及川純子
〃	佐々木嘉子
家政科9回生	熊野久子
〃	松岡裕子
家政科10回生	三浦とし子
〃	鎌田則子
〃	佐藤伸子
家政科20回生	柴田順子
家政科21回生	道源亜紀子
女子大学生生活福祉8回生	古川知子

(平成30年2月末現在)

平成 29 年度 会計報告

平成 29 年度 決算報告

項目	収入	支出	備考
繰越金(平成28年度)	15,770,466	0	定期預金・普通預金を含む
終身会費(平成29年度)	4,095,000	0	女子大学19回生(273名)
年会費	92,000	0	通信費等
利息	509	0	預金利息(普通・定期)
特別収入	0	0	
入会式費	0	162,750	卒業記念品等
会議費	0	39,790	幹事会・役員会等
総会費	604,400	907,007	会場費・飲み物代等
会報費	0	987,942	会報印刷・郵送料等
慶弔費	0	64,800	花代(入学式・卒業式)・その他
事務費	0	1,043,872	電話料・文具・パート代等
特別事業費	0	10,000	ホームカミング・大学祭広告
予備費	0	0	その他
合計	20,562,375	3,216,161	

平成 30 年 3 月 31 日次年度繰越金 17,346,214 円

平成 30 年度 予算(案)

項目	収入	支出	備考
繰越金	17,346,214	0	定期預金・普通預金を含む
終身会費	3,810,000	0	女子大学20回生(254名)
年会費	100,000	0	通信費等
利息	509	0	預金利息(普通・定期)
特別収入	0	0	
入会式費	0	200,000	卒業記念品等
会議費	0	50,000	幹事会・役員会等
総会費	700,000	1,100,000	会場費・飲み物代等
会報費	0	1,200,000	会報印刷・郵送料等
慶弔費	0	100,000	花代(入学式・卒業式)・その他
事務費	0	1,300,000	電話料・文具・パート代等
特別事業費	0	50,000	ホームカミング・大学祭広告等
予備費	0	500,000	同窓会発足50周年記念関連等
合計	21,956,723	4,500,000	

差引次年度繰越予算額 17,456,723 円

新幹事紹介

仙台白百合女子大学19回生

人間発達学科

A 内出 依里／小川 朱音

B 早坂 真由／藤井 虹花

心理福祉学科

遠藤 亜紀／志村 郁奈

健康栄養学科

A 五十嵐さと子／五十嵐有香

B 武田 沙英／千葉 美咲

グローバル・スタディーズ学科

A 佐々木彰子／坂元 美咲

B 赤間 結衣／澁谷 陽

人 事

〈退職〉

人間発達学科

教授 山口 榮一
准教授 妹尾 知昭
准教授 沼澤 清一
特任講師 岩淵 摂子
講師 中村 俊哉

心理福祉学科

講師 松崎吉之助

健康栄養学科

特任教授 鈴木 裕一

教授 宮下ひろみ

グローバル・スタディーズ学科

特任教授 植竹由美子

教務課

小山田真理子

国際交流センター

鈴木 和裕

浅野 香織

キャリアセンター

鈴木 麻夕

保健室

津田美和子

〈新任〉

人間発達学科

特任教授 佐野 裕子

任期付講師 千 凡晋

任期付講師 大木 葉子

任期付講師 呂 光暁

心理福祉学科

任期付講師 中嶋みどり

事務局

芳賀 茂

教務課

柳 愛子

国際交流センター

千葉 智枝

保健室

原田 香奈

同窓会事務局からのお知らせ

同窓会では、大学より提供いただいた同窓会名簿は同窓会会報の発送と幹事へのお知らせのために利用させていただいております。

還暦祝い・25周年の祝い・同期会などの必要と認められる場合のご連絡については、代表者(学年幹事等)の方に、使用目的の誓約書を提出していただくことをお願いしております。

このように、個人情報については適切に取り扱っております。

住所・姓名に変更が生じた場合は、事務局までご連絡ください。その際、下記の事項をお忘れなくご記入の上、電話・ハガキまたはファックスにてお知らせくださいますようお願いいたします。

記

●氏名(現・旧) ●住所(現・旧)

●電話番号 ●学科・回生・クラス

【連絡先】

仙台白百合女子大学

仙台白百合短期大学

同窓会事務局

〒981-3107 仙台市泉区本田町6-1

TEL・FAX (022) 372-3595

(毎週木曜日開局)

● 編集者

阿部美恵子(家政科3回生) 塚本 良子(家政科5回生)

斉藤 礼子(家政科15回生) 西條るり子(家政科15回生)